

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
経済学研究科	経済学専攻	租税論・租税法	不可

A又はBのいずれかを選択して回答のこと

A 租税原則の一つである「租税法律主義」について、その意義、機能、内容等について自由に述べよ。

【参考】日本国憲法(抄)

第14条 すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

第29条 財産権は、これを侵してはならない。

第30条 国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負ふ。

第84条 あらたに租税を課し、又は現行の租税を変更するには、法律又は法律の定める条件によることを必要とする。

B 経済社会と租税の関係について、自らテーマを設定して、自由に述べよ。

【テーマ例】

・高齢化社会における税制のあり方について